

第2回 物理オリンピック日本委員会シンポジウム

物理チャレンジ・物理オリンピックによこそ —理論問題演習・解説と実験実習—

物理に興味のある中高生の皆さん、物理チャレンジ・物理オリンピックで出題される
理論問題を知りたい方、物理実験を体験したい方、
物理学が創る未来を語る講演を聴きたい方、是非いらしてください!



2026年3月29日(日)
13:00~17:00



オンライン および
東京理科大学 神楽坂キャンパス
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

参 加
対象者

中学生、高校生、教員等
現地参加者は中学生・高校生等対象
現地参加者 110名
(理論クラス 計70名、実験クラス 計40名)
オンライン参加はどなたでもできます

参加費

無料

申 込

2026年2月24日(火)~3月13日(金)
※募集クラスごとの先着順で受け付けます。定員を超えた場合はキャンセル待ちになります。
※キャンセル待ちの方への参加の可否は、3月21日(土)を目途にメールにて連絡いたします。



招待
講演

『物理学が未来を創る!』

物理学とは何か?この問いに一言で答えるなら、「自然界のルールブック」と言えるでしょう。サッカーやラグビーなどのスポーツは、ルールを知らずに観戦するより、理解して観るほうが断然面白いですし、選手たちはルールを最大限に活かして私たちに感動的なプレーを見せてくれます。同じように、自然界のルールである物理学を知れば、身のまわりの景色はより豊かで、より感動的に見えてきます。物理学者たちは、そのルールを探求し続けるとともに、ルールを最大限に活用して未来を創り続けています。本講演では、私たちの身のまわりがいかに物理に満ちていて、そして物理学がどのような未来を描いているのかについてお話しします。

プロフィール
山本 貴博 氏

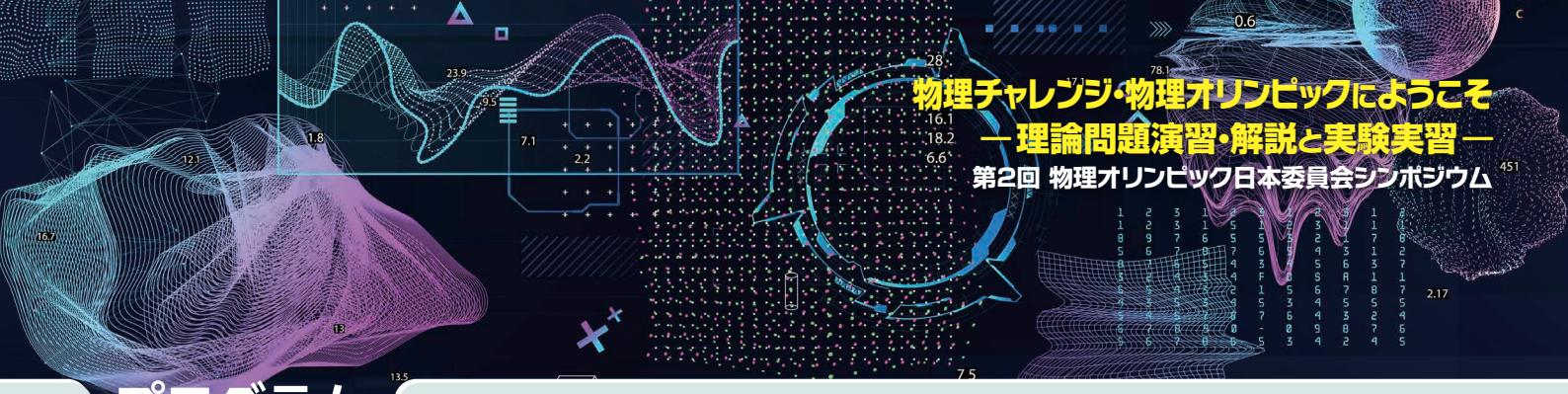
東京理科大学教授・日本物理学会理事
1975年・大分県出身。

科学技術振興事業団研究員、東京大学助教などを経て現職。

量子力学など物理学を駆使して、物質に秘められた未知なる性質・機能を探究する理論物理学者。
日本物理学会や応用物理学会、日本表面真空学会などから多くの賞を受賞。
また、メディアやイベントを通じたサイエンスの魅力発信にも尽力。



TAKAHIRO YAMAMOTO



プログラム

前半 ハイブリッド開催(現地とオンライン)

- 13:00~13:05 開会
13:05~13:20 物理チャレンジ2コース制方式の紹介
13:20~14:20 招待講演『物理学が未来を創る!』
山本 貴博氏 (東京理科大学教授)
14:20~14:30 各教室へ移動、休憩

後半 対面開催 (現地)

- 14:30~16:30 各教室に分かれて理論問題演習・解説と実験実習
クラス1 物理チャレンジ(第1C) 理論問題 40名
クラス2 物理チャレンジ(第2C) 理論問題 20名
クラス3 国際物理オリンピック理論問題 10名
クラス4 物理チャレンジ(第2C) 実験問題 40名
『偏光で歪みがわかる?—光弾性効果—』
16:30~16:40 移動
16:40~16:45 閉会
16:45~17:00 アンケート入力、解散

このシンポジウムは、一般社団法人国際物理オリンピック2023記念協会と公益財団法人豊田理化学研究所の支援を受けて実施します。

お問い合わせ

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内

E-mail info@jpho.jp

Web <https://www.jpho.jp>